◆経済倶楽部講演会第4441回（1月27日）

改憲なしで変わるこの国の形

政治経済アナリスト　古賀（こが）茂明（しげあき）

＊産業界を象徴するEV化への立ち遅れ
＊ここへきて吹いてきた二つの追い風
＊若者の日本脱出を加速させる政治の低迷
＊日本は軍事優先の重武装国家へ
＊アメリカと一体化する日本の危うさ
＊日本も〝戦場〟になる台湾有事
＊安倍政権の負のレガシー
＊今や、思考停止状態の官僚機構
＊官僚の本質とは何か
＊効率重視から公正重視の改革を

柴生田　それでは開会いたします。（拍手）

本日は、昨年に続きまして古賀さんにおいでいただきました。改めてご紹介の必要もないかもしれません。1955年のお生まれで、東京大学をご卒業後、旧通産省に入省され、その後フリーになられ、今、活発な言論活動をしておられます。ご著書も幾つもございますが、やはり日本の抱えているさまざまな問題、企業もそうですし、政治の世界、役人の世界、あらゆるところで日本の劣化が進んでいるということにたいへん警鐘を鳴らしておられるということで、今日もそういったお話を中心にしていただけるのではないかと思います。

それでは古賀さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

産業界を象徴するEV化への立ち遅れ

古賀　皆さんこんにちは。今日はすごく寒いですけれどもたくさんお集まりいただいて、後でネットでも配信されるらしいので、さらに多くの方に話を聞いていただけるということでたいへんありがたく思います。

去年も来られたとか私の話を聞いたという方はどれぐらいいらっしゃいますか。――かなりいらっしゃいますね。去年、いろんな話をしようと思ってこちらに伺って、結局終わってみたら自分が話したいことの半分ぐらいしか話していなくて、後で主催者の方からも、もうちょっと後半の話が聞きたかったよねという話がありました。後半の話は何かというと、去年は主に